

歌詞和訳

蔡佳葳 & 慈仁建塘《チュチェパティ・キャンプの唄》
ビデオ、17 分 03 秒、2017 年

01. Prabhu Ram Prasad Dahal

皆々様にふかく一礼
私は詠う この詩を

父よ 母よ 兄弟姉妹よ 聴け
シッダ・カリの女神に捧ぐ詩を
私はサンクワサバ郡チャイナプル村のバラモン
名はプラーブ・ラム・プラサド・ダハル

椰子の実は 鉄の道具で割りひらける
私は九歳から異国に住んだ
ひとは故郷を離れてはならない
私は野犬のように苦悶した

故郷を離れたその日 ベリタルで過ごした夜
私は歩くのに慣れず 死にかけた
次の日 やつとの思いでダンクタにたどり着く
誰も泊めてはくれず 村の木の下で眠った
夢の中で家に帰って ああ 母よ
飼牛たちはジャングルで草を食んでいたね

あくる日 足を引きずりダランに着くと
生まれてはじめてエンジンの音を聞いた
金のあるものはバスを使った
車掌は私に 金は と聞いた

ああ 母よ 私は徒歩で山河を越えねばならなかった
私は世間知らずで学もなく
教育を受けられず 苦しんだ
五歳のときに母を亡くした私は
教育を受けられないさだめだった

ああ バシユパティナタの神さま
苦しめる私をお助けください

Prabhu Ram Prasad Dahal, 68 歳
91 番テント
サンクワサバで罹災

02. Kumari Nepali

草を食む牛よ 黙々と食む牛よ
おまえの兄はヒマラヤを往く
おまえの兄はヒマラヤを往く

草原は繁る 青青と繁る

わが心はどこにある？
わが魂はどこへ還る？

わが故郷はソルにある
わが魂はどこへ還る？

草原は繁る 青青と繁る

ソルに生を享けた この
わが魂はどこへ還る？

Kumari Nepali, 50 歳
64 番テント
バネスウォルで罹災

03. Binam

雨季はやってきた
雨はどしゃぶり

孤独でさびしいこの心を
私はどう慰めればよい？

わがメイチャンは 泣きながら問う
山の峯から幾千里も離れた
そこが私の働く町

この別離のさなかにあって
ニャオリの鳥が啼くと心が揺れる
メイチャンはいま なにをしているだろう？

わが家の前庭に腰かけて
彼女はなにを想うのだろう？
笑いながら 泣きながら
私のことを考えているだろうか

雨季はやってきた
雨はどしゃぶり

孤独でさびしいこの心を
私はどう慰めればいいのか？

わがメイちゃん は 泣きながら問う
山の峯から幾千里も離れた
そこが私の働く町

この別離のさなかにあって
川はいまごろ 溢れんばかり

わが息子はもう一人遊びもできて
ひねもす遊んで過ごすだろう
私をもはや恋しがらずに

夜がやってくると
母親に聞くかもしれない
僕のお父さんはどこにいるの と

雨季はやってきた
雨はどしゃぶり

孤独でさびしいこの心を
私はどう慰めればいいのか？

わがメイちゃん は 泣きながら問う
山の峯から幾千里も離れた
そこが私の働く町

この別離のさなかにあって

*Binam、13 歳
59 番テント
ガイガットで罹災*

04. Pasang Sherpa

三つの星は行き先わかれて
斜めのティカ(額につける赤い印)を持つ娘よ
私を見ないでおくれ

三つの星は行き先わかれて
斜めのティカを持つ娘よ
私を見ないでおくれ

三つの星は行き先わかれて
斜めのティカを持つ娘よ
おまえの編んだ縄を持ってきておくれ
手遅れになるまえに山を越えよう

川向かいの者と恋に落ちてはならなかった
雨季には川を渡れぬのだから

泣かないでおくれ 愛しき者よ

Pasang Sherpa, 50 歳
110 番テント
ウォカルドウンガで罹災

05. Sushmita Thapa

創造の美を見よ
造物主のなんと偉大なことか！

富める者も貧しき者も力を合わせよと 神は言う
神よ 感謝します

広大な土地よ 作物よ 収穫よ
雲が高々に見え

鳥が空に飛び立つ時
わが心は天に届くだろう

創造の美を見よ
造物主のなんと偉大なことか！

富める者も貧しき者も力を合わせよと 神は言う
神よ 感謝します

Sushmita Thapa, 15 歳
75 番テント
シンドウパルチョウクで罹災

06. Laxmi Shrestha

時に雲り 時に晴れる
人生とはそのようなものだ

家をもたないこの私
茅葺き屋根をどう作る？
私はすっかり弱り果て 家路はどこに？
家路はどこに？

茅葺き屋根をどう作る？
私はすっかり弱り果て 家路はどこに？

空のハゲタカは円を描いている
愛しき者よ 今いずこ
空のハゲタカは円を描いている
愛しき者よ 今いずこ

家をもたないこの私
どこに住めばよいというのか？
私の家はなくなった 地震によって壊された
どこで腹を満たし 生き伸びれば良いというのか？

国は手を差し伸べてはくれなかった
夫は麻痺に
息子はてんかんに苦しんだ
それでも私は働けない

安住の地はなく
座る場所も
食事をとる場所さえない
私たちは辛うじてチュチェパティ・キャンプに身を寄せた

異国の人から 恵まれた二枚の防水シートを
私は今でも使っている
異国の人に時々恵まれる米で
私たちは今も生き延びている
それでも私は働けない

Laxmi Shrestha, 59 歳
104 番テント
ドラカで罹災

07. 3 Kids

日々の慌ただしさに
わが飢えた魂は 捕らえられている
1 2 3 4 5

日々の慌ただしさに
わが飢えた魂は 捕らえられている
1 2 3 4 5
2 3 4 5 6

愛しき者よ 君はわが夢の中で心待ちにしていた

私は君に求婚した
口に合わなかった山芋は
恋に落ちた今では 好物になった

東西列車
チュク チュカ… チュク チュッカ…(列車の音)

愛する者よ 私は列車の夢を見た
私は君に求婚した
遠く離れた泉から 飲み水を搬ぶようでは
たったの一日を凌ぐことさえ難しい

東西列車
チュク チュカ… チュク チュッカ…(列車の音)

愛しき者よ 私は列車の夢を見た
私は君に求婚した

翻訳(英語字幕より重訳) 福士弥華・中本憲利